

家畜衛生だより

R4 - 60 R5年1月発行

置賜家畜保健衛生所
置賜家畜衛生指導協会
〒999-2232 南陽市三間通 444
TEL 0238-43-3217
FAX 0238-43-5249

農場の消毒について

今年度は、国内において鳥インフルエンザや豚熱などの家畜伝染病が発生し、農場への侵入リスクが高い状況にあります。農場内への侵入を防止するため、再度、消毒方法について確認をお願いします。

1. 車両からの伝播防止 —消毒方法—



衛生管理区域の出入口では、外来者にも徹底させる

- ① 車全体を消毒した後、タイヤ、タイヤハウス、車体下部を重点的に洗浄・消毒する。（車両を少し移動させ、タイヤ全体を消毒する。発砲消毒なら持続効果が長い。）
- ② 乗降用のステップやペダル、ハンドルをアルコールスプレーで消毒する。
- ③ 乗務員が衛生管理区域内で乗降する場合は、着替え・履き替えに併せ、区域内専用の足置きマットを車内に設置する。

※ と畜場への出荷に使用した車両は、農場外で洗浄・消毒し、一晩外に置いてから場内に戻す。

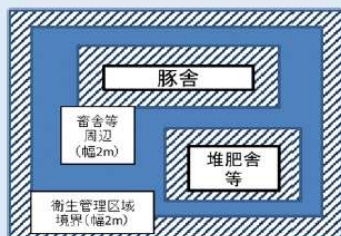
2. 人による持込防止 衛生管理区域内外と畜舎内外で2重に境界を設定する



- ・ 衛生管理区域、畜舎それぞれ専用の衣服及び靴に着替える。
- ・ 畜舎出入口では、長靴を洗浄した上で踏み込み消毒を行う。
- ・ 手指の洗浄・消毒、又は専用手袋を着用する。
- ・ 分娩舎は、豚に触ることが多いので、手袋を着用する場合でも、手洗いを入念に行う。
- ・ と畜場や化製場から戻ってきた者は、直接農場に戻らず、場外でシャワーを浴びてから農場に入る。

※ 消毒効果を得るには、事前に泥などの有機物を洗い流すことが必要です。

3. 畜舎周囲・農場外縁部の石灰散布



- ・ 畜舎周囲と農場外縁部（出入口の外周を含む）は2m以上の幅で地面が白く覆われるよう定期的に石灰を散布する。
- ・ 散布量の目安は、1㎡当たり0.5～1.0kg（2m幅の場合、1袋で約15m）。
- ・ 繰り返し雨や水に濡れてしまうと、消毒効果がなくなる。
- ・ 消石灰は強アルカリ性のため、マスク・手袋を着用して散布する。
- ・ 併せて、殺鼠剤及び殺虫剤の散布によるネズミ、昆虫等の駆除を行う。

飼養衛生管理基準を遵守して、病原体の侵入やまん延を防ぎましょう

日ごろから健康観察を行い、異常な家畜を見つけた場合はかかりつけの獣医師や家畜保健衛生所までご連絡ください。

0238-43-3217 / 080-1840-0705

上記電話で24時間対応しています



トピック：サルモネラ菌の消毒に対する抵抗性について

サルモネラ菌は、虫歯菌が歯垢を作って身を守るのと同じように、バイオフィルムと呼ばれるバリアをつくり薬剤などに抵抗性を示すことがあります。

万が一サルモネラが発生した場合には、事前に畜舎の見た目の汚れを取り除くだけでなく、抵抗性にも配慮して、入念に消毒しましょう。

畜舎内を想定したサルモネラ菌の効果的な消毒手順の検証試験

・方法：

鶏舎内で埃を自然に積もらせたセラミックやステンレス上に、検査室でサルモネラ・ティフィムリウムを加えて3日間おいた汚染モデル（図1）を作り、生菌数を測定して消毒効果を検証しました。

図1



セラミック



ステンレス

・結果：

すると、図2のように洗浄した後も（※1）、一般的な消毒薬（※2）に抵抗性を示しました。

見た目にはきれいでも
消毒に抵抗性を示す場合があった

図2



セラミック



ステンレス

一方、次のいずれかの方法では、サルモネラ菌が減少しました。

○ 念入りな高温洗浄

65℃の1%バイオソルブを1時間作用後、80℃で水洗（※3）。

○ 二酸化塩素で追加洗浄して消毒

25℃の1%バイオソルブを1時間作用して水洗した後に、25℃の二酸化塩素製剤（約20ppm、アクアハート・カイロジット（※4））で同様に洗浄し、一般的な消毒薬で消毒。

○ 洗浄後に石灰乳を厚く塗布

25℃の1%バイオソルブを1時間作用して水洗し、20%ドロマイト石灰乳を10cm角あたり30mlの割合（5m×5mあたりでは75L）で塗布。

※1：25℃で畜産向け界面活性剤（1%バイオソルブ）を1時間作用させて水洗し、見た目の汚れを落としました。

（擦り洗いや高圧洗浄などの物理的な除去は行っていません）

※2：逆性石鹼製剤や複合次亜塩素酸製剤

※3：加熱不足や温かい蒸気にあたると、サルモネラが増殖することがあります。

入念な高温洗浄を実施できない部分は他の方法で消毒しましょう。

※4：揮発性があるため調整後はすぐに使用してください。腐食性があるので錆びに注意しましょう。